動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 （鉄電） 千葉 2935・2939番
（公） 043（222）7207番

96.10.3 No. 4475

12月ダイ改悪阻止！

●●労働条件改善へ

九月三〇日、千葉支社は、一二月ダイ改に関する行路・交番順序表を明らかにしてきた。

いよいよ一二月ダイ改との攻防も本格的な闘いとなった。

われわれは、一二月ダイ改を契機に奪われた労働条件を奪いかえすために闘いを更に強化しよう！

睡眠時間さえまならない行路

一二月ダイ改に関し、出された行路は、睡眠時間さえまともにとれない。

■千葉運転区・三八行路

（幕張電車区泊）

勤務初日の終担当

回送一〇二四M

（幕張着・二三：四八）

翌日明の初担当

回送三〇〇二M

（幕張発・ 五：五三三〇）

着発で六時間〇五分

それに入区に要する時間三八分・入区時間五分＋出区に要する時間四八分・出区時間五分を除くと

●睡眠時間＝四時間二九分（その他、就眠までの時間・起床してからの時間を除けば、実質の睡眠時間は、**四時間を割ってしまう。**）

■銚子運転区・二七行路

（成東泊）

勤務初日の終担当

一三九七M（成東着二三：四四三〇）

翌日の初担当

一三二〇M（成東発五：二六）

着発で五時間五九分三〇

入区に要する時間二四分＋出区に要する時間三二分

●睡眠時間＝四時間四二分（実質約四時間）

こうした例はほんの一例であり、睡眠時間五時間台（実質五時間を割る）泊勤務がゴロゴロしている。

乗客の命を乗せて走っている運転士が、泊勤務において実質四時間を割るような睡眠時間しかないのである。まさに、「最低の勤務を押しつけられている」と言わざるを得ない。

食事時間もままならない

また、食事時間をまともにとれない行路もゴロゴロしている。

■千葉運転区・三四行路

出勤・八時二二分

昼食時間は、

便乗一二七四M（千葉着一三：四三）

一一八七Mの動力看視開始時間（一四：二二）のわずか二九分間。

■千葉運転区・四一行路

出勤・一五時四二分

夕食時間は、

便乗二八三M（大網着一六：三八）から一七：二七まで、その後、東金線の往復を九回繰り返し、二二：四三三〇までの五時間一五分、休憩時間もない。

一五時四二分に出勤し、一六時三〇分すぎに食事を行い、その後、寝るまでの二三時過ぎまで食事どころが、休憩時間もないのである。

運転士の最低限の労働条件を確保しよう！

こうした例は、まだまだ一例

食事時間・睡眠時間という人間の最低限必要なものでさえ、さんさんたる状況である。

その他、内房線のスピードアップや管内業務移管など問題は山積みされている。

各支部は、早急に要求をまとめ、労働条件改善に向けて、全力で闘おう！

10.13 三里塚・全国集会へ

三里塚芝山連合空港反対同盟の呼掛けによる三里塚現地集会が、一〇月一三日、芝山町菱田の反対同盟員所有地で開催される。三里塚闘争は、農地死守、実力闘争、一切の話合い拒否という非妥協の闘いを三〇年間堅持し、現在もなお二期工事を阻止し続け、意気軒高と闘い続けている。

こうした反対同盟の闘いに対して政府・空港公団は、小川嘉吉との土地売却契約を行うとともに、八月には空港の完成時期を年内に発表すると言い出すなど完全に追い詰められている。

反対同盟は、政府・公団による札束と恫喝による用地強奪と三〇年間闘い続けてきた。しかも、全国の労働者・市民の闘いが反対同盟の勝利を決定づけているのだ。

また、一方では、四月の日米共同宣言で打ち出された新安保体制のもとで、成田空港の軍事空港としての実態が浮き彫りになってきている。

今こそ反戦・反核闘争の砦―三里塚闘争の勝利で全力で決起しよう！安保・沖縄闘争―国鉄闘争の勝利を目指して闘おう！

一〇・一三三里塚現地に各支部から総決起しよう！

10・13三里塚現地集会

とき 10月13日（日） 一二時から

ところ 芝山町菱田

集合 成田駅改札口 一〇時三〇分